

研修カリキュラム(介護職員初任者研修課程)

科目名	研修時間数	内容例
1. 職務の理解		
①多様なサービスの理解	6	介護保険サービス(居宅、施設)
②介護職の仕事内容や働く現場の理解		居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容
2. 介護における尊厳の保持・自立支援		
①人権と尊厳を支える介護	9	人権と尊厳の保持、虐待防止・身体拘束禁止
②自立に向けた介護		自立支援、介護予防
3. 介護の基本		
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	6	介護環境の特徴の理解、介護に関わる職種
②介護職の職業倫理		介護の倫理、プライバシーの保護・尊重
③介護における安全の確保とリスクマネジメント		介護における安全の確保、感染対策
④介護職の安全		介護職の心身の健康管理
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携		
①介護保険制度	9	介護保険制度創設の背景及び目的、動向
②医療との連携とリハビリテーション		医行為と介護、看護と介護の役割・連携
③障害福祉制度およびその他制度		障害福祉制度の理念、仕組みの基礎的理解
5. 介護におけるコミュニケーション技術		
①介護におけるコミュニケーション	6	介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割
②介護におけるチームのコミュニケーション		記録における情報の共有化、報告
6. 老化の理解		
①老化に伴うこころとからだの変化と日常	6	老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴
②高齢者と健康		高齢者の疾病と生活上の留意点
7. 認知症の理解		
①認知症を取り巻く状況	6	認知症ケアの理念
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		認知症の概念、健康管理
③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活		認知症の利用者への対応
④家族への支援		認知症の受容過程での援助

8. 障害の理解		
①障害の基礎的理解	3	障害の概念とICF、障害福祉の基本理念
②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的理解		身体障害、知的障害、精神障害、その他の心身の機能障害
③家族の心理、かかり支援の理解		家族への支援
9. ころとからだのしくみと生活支援技術(75時間)		
I. 基礎知識の学習		
①介護の基本的な考え方	10~13	理論に基づく介護、法的根拠に基づく介護
②介護に関するころのしくみの基礎的理解		学習と記憶の基礎知識
③介護に関するからだのしくみの基礎的理解		人体の各部の名称と動きに関する基礎知識
II. 生活支援技術の講義・演習		
④生活と家事	50~55	家事援助に関する基礎知識と生活支援
⑤快適な居住環境整備と介護		高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法
⑥整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		整容に関する基礎知識、整容の支援技術
⑦移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法
⑧食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ
⑨入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法
⑩排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法
⑪睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		さまざまな睡眠環境と用具の活用方法
⑫死にゆく人に関連したころとからだのしくみと終末期介護		終末期に関する基礎知識ところとからだのしくみ
III. 生活支援技術演習		
⑬介護過程の基礎的理解	10~12	介護過程の目的・意義・展開
⑭総合生活支援技術演習		事例による展開
10. 振り返り		
①振り返り	4	研修を通して学んだこと
②就業への備えと研修修了後における継続的な研修		継続的に学ぶべきこと
実習を行う場合		
施設の見学等		施設の見学等